

電気・ガス・水道 6図 B-2

別府地区LPガス協議会

避難するときは、ガスの元栓や容器バルブをすべて閉めてください。
※家屋等に被害が発生した地域では、ガス漏れや設備の点検を順次行いますので、点検の際にはご協力をお願い申し上げます。

別府市南立石 1997 番地の2 TEL:0977-21-4040

文化・レジャー 7図 E-3

大分香りの博物館 Oita Fragrance Museum

世界中から集めた香水瓶、香炉などを展示、世界に1つの香水づくり体験は人気です。

別府市北石垣4 8-1 TEL:0977-27-7272
開館:10時~18時 定休日:12/31~1/3
体験は要事前予約 カフェ:日曜、第1、第3の月曜

車検修理 2図 C-3

車検・整備・修理・新車・中古車販売・各種保険・钣金・塗装

(有) 中部自動車

別府市石垣東1丁目1-25 コーティング専門店
TEL: (0977) 22-1644 TOYOOKA BASE
http://tuxxx0.wixsite.com/toyookabase

寺院 1図 B-6

浄土真宗本願寺派 栄昌山西法寺

別府市中央町9番32号
TEL:0977-22-0437
FAX:0977-26-0437

地震対策

地震は突然襲ってきます。日頃の備えが大切です。家の中や周囲の確認をしておきましょう。

家の中の安全対策

- 出入口**
玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かないようにしましょう。
- コンロ**
倒れやすいものや燃えやすいものを周りに置かないようにしましょう。
- ガラス窓**
飛散防止フィルムを張りましょう。食器棚のガラスなどにも有効です。
- 本棚・食器棚**
背の高い家具は、L字金具や突っ張り棒で壁に固定しましょう。また、家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱に寄りかかるように固定するのも有効です。
- ストーブ**
地震自動消火付のものにし、カーテンなど燃えやすいものの周囲に置かないようにしましょう。
- テレビ等の転倒・落下防止**
高い所には置かないようにし、しっかり固定するか、免震シートを張りましょう。
- 寝室や子ども・高齢者の部屋**
就寝中に地震に襲われると危険ですので、背の高い家具などを置かないようにしましょう。
- 懐中電灯を設置**
暗闇では安全な行動が取れません。所定の位置に懐中電灯を設置しておきましょう。

屋外の安全対策

- ベランダ**
鉢植えなどを落ちる危険がある場所には置かないようにしましょう。
- 屋根**
不安定なテレビアンテナは補強し、瓦などの落下防止対策を行いましょう。
- 窓ガラス**
飛散防止フィルムを張りましょう。網入りガラスなら安心です。
- プロパンガス**
ボンベを鎖などでしっかり固定しておきましょう。
- 塀・門柱**
ぐらつきやひび割れがないか確認し、鉄筋が入っていない場合は補強しておきましょう。
- 看板**
商店などでは看板のぐらつきがないか定期的に確認し、落下防止対策を行いましょう。

各種助成制度

【家具転倒防止器具取付制度】
別府市では生命及び財産を地震災害から守るため、70歳以上の高齢者のみ世帯及び重度障がい者世帯が居住する住宅の家具に転倒防止器具を取付ける助成制度を設けています。(申し込み・問合せ先) 高齢者福祉課 ☎21-1442 / 障害福祉課 ☎21-1413

【木造住宅耐震化促進事業補助金交付制度】
地震から、自分と家族の身を守るためには、自宅が地震に強いことが重要です。阪神・淡路大震災(1995年)の際、死者の約8割が家屋の倒壊や家具の転倒による圧迫死や窒息死でした。その教訓を生かし、自宅の耐震診断・改修を行いましょう。
別府市では昭和56年5月31日以前に着工された2階建て以下の木造一戸建て住宅の耐震診断・改修を行う場合の費用を助成する制度を設けています。(申し込み・問合せ先) 都市計画課 ☎21-1471

地震の揺れと想定される被害

震度4	<ul style="list-style-type: none"> ○歩行中の人も揺れを感じ、眠っている人のほとんどが目覚めます。 ○電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。 ○座りの悪い置物が、倒れることがある。 	震度6弱	<ul style="list-style-type: none"> ○立っていることが困難になる。 ○固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。 ○壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
震度5弱	<ul style="list-style-type: none"> ○大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 ○棚にある食器類や本が落ちることがある。 ○固定していない家具が移動することがある。 	震度6強	<ul style="list-style-type: none"> ○立っていることができず飛ばされることもある。 ○固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。 ○耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。
震度5強	<ul style="list-style-type: none"> ○物につかまらなると歩くことが難しい。 ○棚にある食器類や本で落ちるものが多くなる。 ○固定していない家具が倒れることがある。 	震度7	<ul style="list-style-type: none"> ○耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。 ○耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 ○耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる。

引用:気象庁ホームページ
気象庁震度階級関連解説表を元に作成(震度0~震度3は省略)

地震発生時にとるべき行動

地震発生

1分
2分

3分

5分

数時間

3日程度

まず自分の身を守る。

- 机の下などにもぐって、まず自分の身を守る。
- すばやく火の始末をする。(揺れが激しいときは無理をしない)
- ドアや窓を開けて逃げ道を確保する。

家族や財産を守る。ただし決して無理はしない。

- 揺れがおさまったら、火の元を確認、初期消火を行う。
- 家族の安全を確認する。
- 室内でもスリッパや靴をはく。(ガラスや落下物から足を守る)
- 家屋倒壊、津波、土砂災害のおそれがある場合はすぐに避難する。

避難準備をする。余震には注意して!

- 非常持ち出し品の用意をする。
- 余震による建物倒壊や火災に注意。
- ラジオなどから災害情報を入手する。
- 電気のブレーカーを切って、ガスの元栓を閉める。

隣近所との協力。避難行動要支援者の安否確認を!

- 隣近所に声を掛け合って一緒に避難する。
- 地域の避難行動要支援者の安否を確認する。
- 協力して、消火・救助活動を行う。
- 倒壊しそうな危険な建物には近づかない。

避難生活は助け合いの心で!

- 自宅が壊れていたら、決して入らない。
- 大きな余震の可能性もあるので、引き続き注意する。
- 生活必需品は備蓄でまかなう。
- 避難所では集団生活のルールを守り、要配慮者(高齢者、障がい者、乳幼児その他の特に配慮を要する者)にも配慮する。

地震対策